

もみじ台中学校区 小中一貫した教育グランドデザイン

令和8年度

もみじ台中学校

もみじの森小学校

もみじの丘小学校

～小中一貫した教育の目的～

「自立した札幌人」の実現に向け、義務教育段階において「知・徳・体の調和のとれた育ち」の一層の充実を図る

二つの柱

- ・課題探究的な学習
- ・発達の段階に応じた継続的な子ども理解

推進の視点

- ① 9年間を通した子どもの学びのつながり
- ② 子ども理解・生徒指導（支援）の連続性
- ③ 教職員の連携・協働
- ④ 家庭や地域との関わり

地域の実態・願い

- ・主に市営住宅と一戸建て住宅の二つの住区から構成されるもみじ台地域は、開発から半世紀を過ぎて居住者の高齢化と人口減少や少子化が顕著となっている。
- ・地域の方々は、恵まれた自然環境を生かした地域学習に前向きに関わったり登下校の見守り活動に多数が参加したりするなど、とても協力的である。
- ・平成22年に二つの小学校の統合、令和4年に二つの中学校の統合を実施。教育環境への関心も高く、令和5年度に「もみじ台地域まちづくり指針」が策定され、将来的な義務教育学校設置も含め、地域と行政、学校間の連携を推進している。

子どもの実態

- ・素直で快活に活動し、相手の気持ちを思いやり、大切にしようとする子どもが多い。その一方で、自主的な行動や活動には消極的な面もある。
- ・学習面ではきっかけや動機づけによって意欲的に取り組める子どもが増えてきているが、学力面や家庭学習の定着で課題を抱える子どももいる。
- ・不安が強かったり生活習慣の乱れがあったりする子どもも見られ、「わかる・できる」が実感できるような支援が求められる。

目指す子ども像

主体的・協働的に学び、故郷を想う心と豊かな人間性をもって
自らの未来を切りひらく「もみじの子」

もみじ台中学校

夢をもち 地域と共に生きる
生徒の育成

～たくましい心身 強い意志 豊かな情操 優れた知性をもつ生徒～

基本姿勢

- 「自己受容を育む学校」
- 「多様性を認め、受け入れる学校」
- 「主体性を大切に作る学校」
- 「笑顔が溢れ活力のある学校」

もみじの森小学校

自ら学ぶ力 と 共に生きる
力 をもった 人間性豊かな
子ども を育てる

～いい顔 いい声 いい動き～

重点

- 「自ら考え つながり合う
もみじの森の子」

もみじの丘小学校

故郷をおもう心 世界をむす
ぶ笑顔 未来をひらく知恵

～子どもの「心・笑顔・知恵」
を生かした学校～

重点

- 『笑顔あふれる あったか丘小』
～もっとみんなで もっとじぶんから～
自信と思いやりをもつ子
の育成

具体的な取組一覧（視点及び知・徳・体）

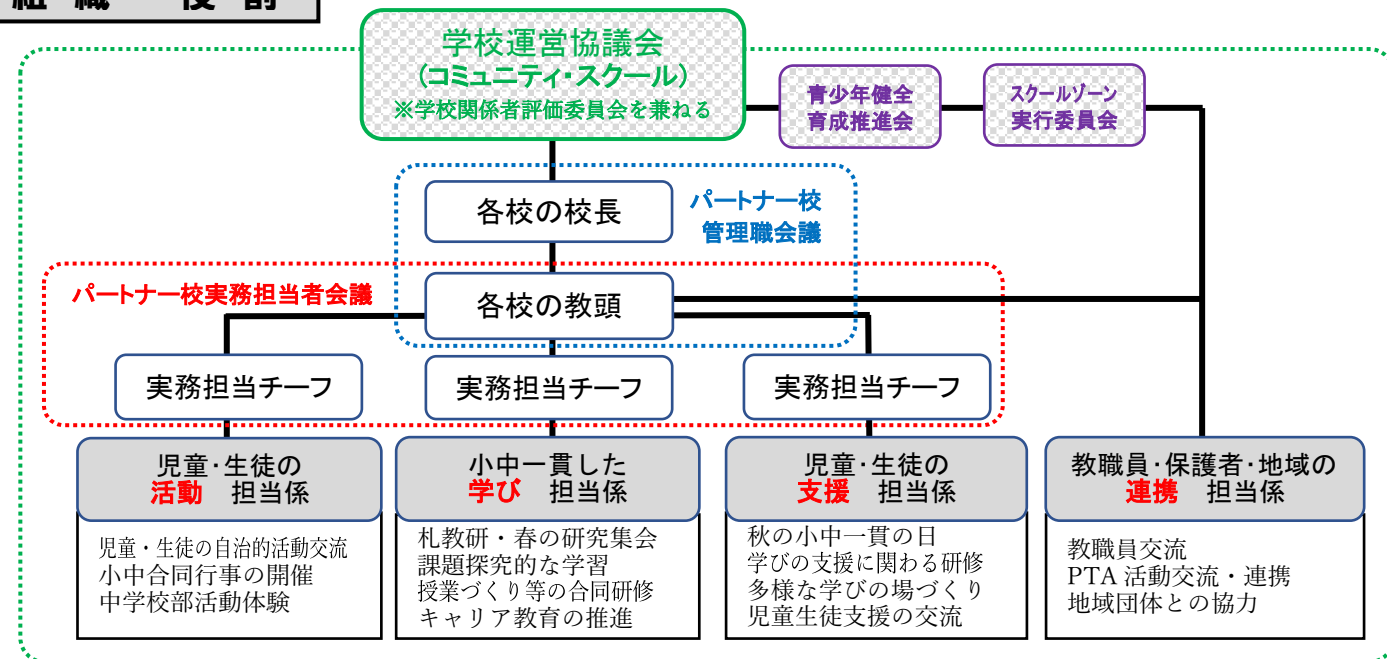
視点① 9年間を通した子どもの学びのつながり	視点② 子ども理解・生徒指導の連続性	視点③ 教職員の連携・協働	視点④ 家庭や地域との関わり
①札教研（小中一貫の日） ②特別支援学級の小中交流 ^知 ③小学校の中学校合唱フェスティバル参加 ^徳 ④小学6年生中学校訪問 ^知 ⑤小学6年生部活動見学会 ^知 ⑥小中通した「体力作り」の取組 ^体	⑦小中一貫の日（児童・生徒理解に向けた合同研修） ⑧中学進学時の引継ぎ ⑨担当係の情報共有・交流	⑦小中一貫の日（児童・生徒理解に向けた合同研修） ⑧中学進学時の引継ぎ ⑨担当係の情報共有・交流 ⑩学校経営方針等に関わる小中の交流（管理職）	⑪学校運営協議会を中心とした教育課程の推進 ・学校経営方針の承認 ・地域・保護者との連携 ⑫小中一貫した教育に対する協力依頼の推進 ⑬保護者アンケート（評価）の小中共通項目の設定 ⑭地域人材バンクの共有 ⑮地域行事と連携した児童・生徒の育成 ⑯もみじ台子ども会議と地域との連携

今年度の取組スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
取組	学運協・全体会(CS)		①札教研・小中一貫の日(森小)	⑯もみじ台子ども会議	さっぽろっ子サミット	⑤部活動見学会
	③合唱フェスティバル 学運協・分科会(CS)	⑨秋の小中一貫の日(もみ中)			④小6中学訪問	⑧小中引継ぎ 学運協・全体会(CS)

※令和7年度より学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の設置

組織・役割



評価

○小中一貫した教育の取組の評価は、学校自己評価並びに学校関係者評価において行う。

＜評価における視点＞

- ・二つの柱、四つの視点に基づいた活動となっているか。
- ・系統性や地域性を重視した校種間連携ができているか。
- ・教職員や地域関係者との積極的な交流事業や企画、情報交流等ができているか。
- ・子どもの学ぶ意欲や自己肯定感の増進につながっているか。